

石垣島マンゴーおよびパイナップルの圃場視察 紀行文



2016年3月13日～15日において、共同研究先の方と一緒に、石垣島のマンゴーおよびパイナップル圃場などの視察に行ってきました。実際に、圃場の現場を見るのは初めてでした。この圃場視察は、石垣島生産されているマンゴーやパイナップルの保存技術を確立するために、実際の圃場での果実のでき方などを勉強す

マンゴーの木

ることが目的でした。マンゴーの木は、取りやすいように縦に枝が伸びないような工夫をされており、わりと低く、横に広がって実ができるようになっていました。初めてマンゴーの花も見ることが出来ました。実際にはすでに多くの花が付いていないといけないのですが、石垣島も最近の温度の低さや日照時間の影響で、開花も遅れているそうです。実際のマンゴーの実の付くのも遅れるみたいです。

今回、パイナップル圃場も視察しました。石垣島のパイナップルはハワイ種がメインで、まだマンゴーと同様に花付も遅れているそうです。写真の赤くなっているところから、茎が出来て実が付くそうです。熟すると赤身



ハワイ種の実の付くところ



実がついているピーチ種

を少し帯びるピーチ種は、促進剤散布されたものは既に小さい実がなっていました。5月くらいに出荷できるようになるそうです。

2016年度は、新たなに開発中の農業資材を利用して、これら2種の果実の保存方法の開発を確立できるように、農家の方々と連携して、研究を進めていく予定です。